



2023年度新入生調査／税理士試験合格者インタビュー

新入生のリアルな「声」を大調査しました！

2023年度に作新学院大学（大学院を含む）に入学した学生を対象に、入学時調査を実施しました。新入生のリアルな「声」をご紹介します。本学では入学時と卒業時に同様の調査を実施し、教育の改善や学生支援の質向上のために活用していきます。

Q1. 作新大への満足度は？

選択肢「1.とても満足している 2.やや満足している 3.どちらともいえない 4.あまり満足していない 5.まったく満足していない」のうち1と2の合計

80%

みなさんの声を
学生支援に
役立てます



Q2. 作新大を受験した理由は？

選択肢15項目(複数回答可)のうち上位回答のものを抜粋



第1位 学びたい学科・
専攻がある

50.0%



第2位 資格・免許が
取得できる

39.5%

Q3. 学生生活の中で力をいれたいことは？

選択肢9項目(複数回答可)のうち上位回答のものを抜粋



第1位 授業

59.4%



第2位 資格・免許
の取得

49.3%



第3位 部活・
サークル活動

32.5%

魅力的な
部活・サークルが
たくさんあるよ



部活・
サークル活動
詳細はこちら
←

Q4. 学生生活を送るうえでの不安は？

選択肢11項目(複数回答可)のうち上位回答のものを抜粋



第1位 授業(勉強)

52.1%



まずはシラバスで
授業をチェックしてみよう
先生にも相談してね！

シラバス
詳細はこちら
←



第2位 資格・免許
の取得

39.9%



第3位 将来の
進路

35.0%

サポート体制の一部をご紹介します



資格取得
サポート
詳細はこちら
←



教員免許取得
サポート
詳細はこちら
←



就職
サポート
詳細はこちら
←



困ったときの
相談窓口
詳細はこちら
←

サポート体制が
充実しているから
安心してね



Q5. 卒業後どんな進路を考えている？ (複数回答可)



第1位 就職

78.7%



就職率98.5%!(2022年度)
学生の就職活動を手厚くサポート

卒業生の進路
詳細はこちら
←



第2位 進学

12.6%



経営学研究科
←
心理学研究科
→



大学院に進学して
夢をかなえる道もあるよ

卒業生インタビュー 税理士試験合格 田口真代さん

田口さんは、大学院在学中に会計学科目「簿記論」と「財務諸表論」に合格。修了後、税法科目「国税徴収法」に合格。税理士試験科目免除制度※により残り2科目の合格が認められ、今年度、税理士として登録されました。

※ 本学の大学院経営学研究科には「税理士試験科目免除制度」があり、学位取得による論文審査で税理士試験科目の2科目が免除されます。



田口 真代 さん

税理士法人サクセス 勤務
作新学院大学大学院
経営学研究科2020年度修了
2023年度 税理士資格取得

Q. 税理士を志したきっかけを教えてください A. 最初は、中学生のころ職業案内の本で「たくさんお金が稼げる」と書いてあったので、そんな理由で税理士を目指しました。簿記の勉強をしたくて商業高校へ進学したはずですが、最初の簿記のテストは赤点で日商3級の問題も全然わからなく落ちこぼれ組でした。日商1級なんて別世界の話だと思い次第に簿記がいやになり部活に逃げていたそんなある日、「お前は部活のスポーツで飯を食っていくのか？」と担任の先生に問われたことをきっかけに本格的に目指すこととなりました。そのときの担任の先生が、作新学院大学の杉本育夫先生（経営学部特任教授、資格取得支援室長）です。

Q. 税理士の仕事の魅力を教えてください A. 税理士の仕事は、簡単にいうと税金を計算する仕事です。身近にあるものだと買い物をしたときの消費税、給与をもらった時に引かれる所得税、会社が利益を出したときに支払う法人税などの計算をします。これら税金の計算は税理士しかできない仕事となっています。顧問先の企業の財政状態及び経営成績のマネジメントを行いながら、税金の法律家としてどんな税制の適用ができるかの検討も行っています。顧問先の企業が成長していく過程を見ることができたり新しく提案をすることにやりがいを感じます。また、お話する相手はその業種のプロとして企業を運営している社長です。いろいろな社長さんからその業種のお話を聞けるのも魅力的です。

Q. 合格に向けてどのような準備をしましたか？ A. 税理士試験は、解けない問題は無いと思えるところまでやりつくしました。自分が解けない問題はみんなも解けないとの気持ちでやりきりました。一番の励みになったのは、同じ環境で遅くまで一緒に勉強している仲間がいたということです。勉強している内容は違いましたが、この中で勉強している時間だけでも負けるわけにはいかないと思いながらやっていました。

Q. 本学での学びはどのように役立ちましたか？ A. 実務においてゆっくり調べることができずでしたが、大学院では税法の授業で凡例をひも解いていくことはとても楽しかったです。論文でも税制の内容をいろいろな視点から深めることができたのでとても良かったです。また、作新学院大学にくることにより杉本先生と再び簿記の勉強ができたことが1番の力になりました。

Q. 後輩たちへのメッセージをお願いします A. 今持っている自分の武器はなんですか？ 将来それで飯を食っていけますか？ ぜひ、自分の武器を取得してこれからの人生を謳歌してください。まだ武器を持っていない人もまだまだ間に合います、決して諦めないでください。私も30歳過ぎてから欲しかった武器を手に入れたので。

Q. 今後の目標を教えてください A. 法律は生き物です。日々怠ることなく勉強していきたいと思っています。

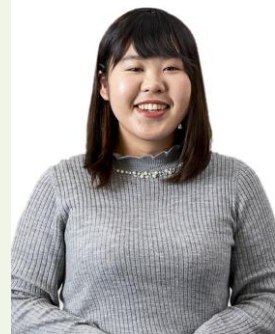
税理士試験「財務諸表論」合格 加藤由紀さん（大学院2年）

加藤さんは、大学在学中に会計学科目「簿記論」に合格。卒業後、大学院に入学し、今回、会計学科目「財務諸表論」に合格。税理士試験科目免除制度による2科目免除を含めると、税理士資格取得まで残り1科目となります。

Q. 合格に向けてどのような準備をしましたか？ A. 今回、合格した科目「財務諸表論」は大学院1年生の時から勉強を始めました。1年生の時は試験に落ちてしまいましたが不合格の通知が届いた後、気持ちを切り替えて直ぐに勉強を再開し、次の試験まで土日関係なく毎日勉強を続けました。

Q. 本学での学びはどのように役立ちましたか？ A. 資格取得支援室で後輩からの質問に答えた時に、人に教えることで自分の記憶に残りやすいという発見がありました。自分自身の努力はもちろん必要ですが、教え合うことで互いの成長に繋がり、今の自分があるのだと思います。また、資格取得支援室にはさまざまな教材があり学生にとって勉強しやすい環境です。自分以外にも努力している学生の姿を見て励みになりますし、諦めそうになった時に頑張れと背中を押してくれた先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

Q. 今後の目標を教えてください A. 大学院修了後は実家の家業を支えながら、残り1科目の合格に向けて税法に属する科目「国税徴収法」の勉強に励み、日々努力していきたいと考えています。



加藤 由紀 さん

大学院 経営学研究科2年
(作新学院大学経営学部2021年度卒)

作新学院大学

経営学部（経営学科・スポーツマネジメント学科）
人間文化学部（発達教育学科・心理コミュニケーション学科）
大学院（経営学研究科・心理学研究科）

<https://www.sakushin-u.ac.jp/>



作新学院大学女子短期大学部

幼児教育部

<https://www.sakushin-u.ac.jp/sjc/>

